

- Minato S, Doei H (1995) Arboreal activity of *Glirulus* (Rodentia:Myoxidae) confirmed by use of bryophytes as nest material. *Acta Theriol* 40:309-313
- Ohdachi SD, Ishibashi Y, Iwasa MA, Fukui D, Saitoh T (2015) *The Wild Mammals of Japan Second Edition*. 506 pp. Shoukadoh Book Sellers Kyoto
- Sagara N, Kobayashi S, Ota H, Itsubo T, Okabe H (1989) Finding *Euroscaptor mizura* (Mammalia: Insectivora) and its nest from under *Hebeloma radicosum* (Fungi: Agaricales) in Ashu, Kyoto, with data of possible contiguous occurrences of three talpine species in this region. *Contr Biol Lab Kyoto Univ* 27:261-272
- Sawada, I. (1991) Redescription of *Vampirolepis yakushimaensis* Sawada (Cestoda: Hymenolepididae), with records of known cestodes from Japanese bats. *Bull Biogeogr Soc Japan* 46:1-22
- 阿部永 (1998) モグラ科の分類・形態 食虫類の自然史 (阿部永、横畑泰志編) 比婆科学教育振興会 庄原 25-66
- 阿部永 (2003) カワネズミの捕獲、生息環境および活動 哺乳類科学 43:51-65
- 阿部永 (2011) カワネズミ *Chimarrogale platycephala* の胃内容について 哺乳類科学 51:311-313
- 阿部永、石井信夫、金子之史、前田喜四雄、三浦慎悟、米田政明 (2008) 日本の哺乳類 改訂2版 206pp 東海大学出版会 秦野
- 有馬浩史 (2006) 京都府芦生研究林におけるコテングコウモリ (*Murina ussuriensis*) の観察記録 *Nature Study* 52:148
- 安藤元一 (2008) ニホンカワウソ 絶滅に学ぶ保全生態学 233pp 東京大学出版会 東京
- 飯島正広、土屋公幸 (2015) リス・ネズミハンドブック 88pp 文一総合出版 東京
- 石井信夫 (2014) ニホンカワウソ (本州以南亜種) レッドデータブック 2014 1 哺乳類 日本の絶滅のおそれのある野生動物 (哺乳類環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室編) ぎょうせい 東京 8-9
- 伊沢紘生 (1996) 霊長目総論 日本動物大百科 2 哺乳類II (日高敏隆監) 平凡社 東京 6-7
- 石黒直隆 (2012) 絶滅した日本のオオカミの遺伝的系統 日本獣医師会雑 65:225-231
- 伊谷原一、五百部裕、河合香 (1995) 近畿地方における猿害の実態 霊長類研究 11:113-122
- 浦野信孝、永井英司、美濃部直久 (2011) 京都府の人工洞に生息するコウモリ *Nature Study* 57:74-76
- 遠藤公男 (1976) クロホオヒゲコウモリの妊娠例と飛翔 哺乳動物学雑誌 6:259-260
- 大井徹 (1994) 森林の保全とニホンザルの保護管理 森林科学 11:43-49
- 太田英利 (1983) 芦生とその周辺の注目すべき小型哺乳類 やけん (京大野生生物研究会) 6:70-71
- 小原良孝 (1999) 青森県におけるカワネズミの分布状況 哺乳類科学 39:299-306
- 金子之史 (1973) 小地域的に見たハタネズミの分布 京都市内農耕地を中心にして

- 香川大学教育学部報告(II) (224):1-13
- ・金子之史 (1975) 日本の哺乳類 12 齧歯目ハタネズミ 哺乳類科学 15(1):3-26
  - ・金子之史 (1992) 日本の哺乳類 各論編 17 スミスネズミ 哺乳類科学 32:39-54
  - ・川道武男 (1996) ムササビ 日本動物大百科 (川道武男編) 平凡社 東京 84-87
  - ・川道武男、川道美枝子 (編) (1991) けものウオッチング 293pp 京都新聞社 京都
  - ・川道武男 (1999) ムササビの年 2 回の交尾日に影響する要因 哺乳類科 39:165-168
  - ・環境省 (2012) 環境省第 4 次レッドリスト (2012) 環境庁自然科学局野生生物課  
<https://www.env.go.jp/press/15619.html> 2025年11月24日確認
  - ・岸田久吉 (1928) カウモリ雑記 動物学雑誌 40:28-29
  - ・木村吉幸、岩原幸子、横山純子 (1998) カヤネズミの分布北限について 福島生物 41:43-46
  - ・京都府 (2015) 第一種特定鳥獣保護計画—ツキノワグマ (第 3 期) 平成 27 年—29 年 35pp 京都府 京都
  - ・京都府 (2022) 第二種特定鳥獣管理計画—ニホンザル—第 5 期 (令和 4 年—令和 9 年) 17pp 京都府 京都
  - ・京都府 (2021) 第二種特定鳥獣保護計画—ツキノワグマ—1 期計画 22pp 京都府 京都
  - ・京都府自然環境保全課 (編) (2015) 京都府レッドデータブック 2015 第 1 巻 野生動物編 503 pp 京都府自然環境保全課 京都
  - ・京都府畑川ダム環境保全フォローアップ委員会 (2024) 畑川ダム周辺の自然環境と環境保全への取り組み<最終評価版> 192 pp 京都府建設交通部河川課・大野ダム総合管理事務所 京都・南丹
  - ・小林秀司、上田康次 (1986) ミズラモグラ *Euroscaptor mizura* (Günter, 1880) の京都府下からの初記録 南紀生物 28:46-48
  - ・子安和弘 (1998) 日本産トガリネズミ亜科の自然史 食虫類の自然史 (阿部永、横畑泰志編) 比婆科学教育振興会 庄原 201-274
  - ・相良直彦 (1998) きのこを手がかりとしたモグラ類の営巣生態の調査法 哺乳類科学 38:271-292
  - ・相良直彦、上田俊穂、西田富士夫、正井俊郎 (2008) 滋賀県朽木におけるミズラモグラの存在, とくに低標高の地における生息について 哺乳類科学 48:31-38
  - ・沢田勇 (1976) 条虫相からみた日本産キクガシラコウモリ科コウモリの分布に関する 2, 3 の知見 動物学雑誌 85:140-155
  - ・沢田勇 (1988) 条虫相からみたキクガシラコウモリ科コウモリの分布について 奈良産業大学紀要 4:169-207
  - ・澤田勇 (1994) 日本のコウモリ洞総覧 自然誌研究雑誌 (2/3/4):53-80
  - ・澤田勇 (1997) イセ条虫に寄生されたコキクガシラコウモリの地理的分布 奈良産業大学紀要 13:91-98
  - ・澤田勇 (1998) 新大谷鉱山とコウモリ Nature Study 44:56
  - ・滋賀県生きもの総合調査委員会 (編) (2021) 滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック 2020 年版— 675pp 滋賀県自然環境保全課 大津

- ・清水善吉 (1985) 鈴鹿山系御池岳におけるミズラモグラの捕獲記録 三重動物学会会報 8:29-31
- ・自然環境研究センター (1999) 平成 10 年度クマ類の生態調査等緊急調査報告 81pp 自然環境研究センター 東京
- ・新宅勇太、呉毅、原田正史 (2010) 京都府におけるモモジロコウモリの初記録 Nature Study 56:109-110
- ・鈴木圭、蔦本樹、滝沢洋子、上開地広美、安藤元一、柳川久 (2011) 丹沢山地におけるニホンモモンガ (*Pteromys momonga*) の営巣木の特徴 哺乳類科学 51:65-69
- ・寺井洋平 (2023) 全ゲノム情報から知るニホンオオカミ 哺乳類科学 63:5-13
- ・寺西敏夫 (1991) 鈴鹿山系北部の哺乳動物相 滋賀県自然誌 (滋賀県自然誌研究会編) 滋賀県自然保護財団 大津 1473-1527
- ・中島福男 (2001) 日本のヤマネ 169pp 信濃毎日新聞社 長野
- ・西村豊 (1996) ヤマネ 日本動物大百科 (日高敏隆監) 平凡社 東京 84-87
- ・日本哺乳類学会 (編) (1997) レッドデータ日本の哺乳類 279pp 文一総合出版 東京
- ・羽澄俊裕 (1997) クマ科 レッドデータ 日本の哺乳類 (日本哺乳類学会編) 文一総合出版 東京 91-95
- ・濱田穰 (2008) 身体成長と加齢—ニホンザル 日本の哺乳類① 中大型哺乳類・霊長類 (高槻成紀、山極寿一編) 東京大学出版会 東京 53-75
- ・原田正史 (2001) 質志鍾乳洞のコウモリ Nature Study 47(2):9
- ・原田正史、高岸重由、岡花金五郎 (2006) 質志鍾乳洞におけるコウモリ類の個体数変動 Animate 特別号 1:92-94
- ・半谷吾郎、山田浩之、荒金辰浩 (1997) 観光客による餌付けと農作物への依存が比叡山の野生ニホンザルの個体群動態へ与える影響 霊長類研究 13:187-202
- ・平岩米吉 (1989) 狼—その生態と歴史改訂八版 310pp 動物文学会 東京
- ・福井県、岐阜県、滋賀県、京都府 (2025) 伊吹・比良カモシカ保護地域第 6 回特別調査中間報告書 179pp 福井県教育委員会、岐阜県教育委員会、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会 福井、岐阜、大津、京都
- ・古林賢恒、宮本雅美、水口民夫、渡辺弘之 (1978) 京都府での捕獲と分布域からみたツキノワグマの拡散的絶滅過程 日本の歴史的な自然環境としての哺乳類 「環境科学」研究報告集 41-48
- ・藤原仁 (1956) カワネズミの妊娠例及び習性知見 哺乳動物学会誌 1:48
- ・文化庁 (2022) カモシカ保護管理マニュアル (改訂版) 191pp 文化庁文化財第二課 東京
- ・本川雅治 (1997) 芦生の小型哺乳類 京都大学公開講座「森のしくみと働き——芦生演習林への招待」 京都大学農学部附属演習林 京都 24-27
- ・本川雅治、恩地実、村上興正 (1996) ニホンハタネズミ *Microtus montebelli* の坑道系利用 哺乳類科学 35:135-141
- ・湊秋作 (2018) ニホンヤマネ：野生動物の保全と環境教育 (Natural History) 272pp 東京大学出版会 東京

- ・明主光（2020）長野県伊那山地中北部および赤石山脈の御池山における小哺乳類相：標高と生息環境による違い 哺乳類科学 60:211-217
- ・向山満（2002）標識ヒナコウモリの青森県外再捕獲による生態的知見 青森自然誌研究会通信 29:7
- ・村上興正（1974）京都府の哺乳類 京都府の野生動物 編集発行 京都府公害対策 京都市 129-136
- ・村上興正（1980）京都市域における小哺乳類の分布 京都市の野生動物の分布に関する調査研究報告書（京都市公害防止計画研究会編） 京都市公害防止計画研究会 京都 23-30
- ・村上興正（1984）カヤネズミ ニュートン 4(12):108-115
- ・村上興正（1990）動物相から見た芦生研究林の特性—とくに小哺乳類を中心に 森林研究と演習—芦生を対象として（神崎康一編） 京都大学演習林 京都 49-54
- ・村上興正（2015）京都府における獣害とその対策 京都府レッドデータブック 2015 3.地形・地質・自然生態系編 京都府自然環境保全課 京都 371-378
- ・村上興正（2025）京都府における獣害とその対策2 とくにツキノワグマとカモシカを中心に
- ・室山泰之（2008）里山保全と被害管理—ニホンザル 日本の哺乳類① 中大型哺乳類・霊長類（高槻成紀、山極寿一編） 東京大学出版会 東京 425-452
- ・室山泰之、鳥居春己、前川慎吾（1999）近畿地方における野生ニホンザルの分布と保護・管理の現状 ワイルドライフ・フォーラム 5:1-15
- ・安田健（1987）江戸諸国産物帳—丹羽正伯の人と仕事 197pp 晶文社 東京
- ・野生動物保護管理事務所（2000）ツキノワグマ 平成11年度京都府野生動物適正理調査事業報告書 第2部 81pp 野生動物保護管理事務所 東京
- ・柳川久（1996）エゾモモンガとニホンモモンガ 日本動物大百科1 哺乳類I（川道武男編） 平凡社 東京 84-87
- ・吉川琴子、谷内森秀二、加藤元海（2017）日本で最後の記録となったニホンカワウソ个体に関する目撃情報の整理 哺乳類科学 57:329-336
- ・淀川河川事務所（2012）河川水辺の国勢調査 両生爬虫類他 17pp 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 大阪
- ・淀川河川事務所（2022）河川水辺の国勢調査 両生爬虫類他 近畿地方整備局淀川河川事務所 枚方
- ・渡邊邦夫（1995）地域における野生ニホンザルの保護管理の問題点と今後の課題 霊長類研究 11:47-58
- ・渡邊邦夫（2000）ニホンザルによる農作物被害と保護管理 120pp 東海大学出版会 東京
- ・渡辺弘之（1973）京都の秘境・芦生 増補版 197pp ナカニシヤ出版 京都